

# NEXCO西日本 新名神大津だより

I N F O R M A T I O N ①

## 事業概要

新名神高速道路は名神高速道路と適切な交通機能を分担することで、名神の混雑を解消し、高速道路ネットワークに求められる「高速性」「快適性」「安全性」「定時性」「信頼性」などの機能を高めるとともに、我が国の産業・文化・社会経済活動の振興に寄与することを目指しています。新名神大津事務所では、新名神高速道路(大津～城陽間)建設の滋賀県域:12.2 kmを担当しています。



## 進捗状況

用地取得は、9地区が完了し、3地区で実施中です。進捗率は約9割。埋蔵文化財調査については、8割以上が完了しています。新名神(滋賀県域)では、6地区で工事用道路工事に着手し、更に牧地区においては、本線工事に着手しています。

大津市南部の自治会で形成される大津市南部三区新名神対策協議会においても、早期着手気運醸成があり、安全に留意し、

開通を目指して、行政・地域と一体となって事業を進めています。埋蔵文化財調査は、地権者の皆様と文化財関係部署のご協力を頂き進めています。

また、地域の皆様との交流を図るために地域イベントに積極的に参加し、高速道路事業のPR活動を行っています。

### ◆各地区の進捗状況(平成30年9月1日現在)

完了 ◆ 実施中 ◇ 実施予定 □

区 間		進捗率 (%)	大津JCT～滋賀県域(12.2km)											
工事区			大津大石工事区(5.8km)				大津田上工事区(3.9km)				大津上田上工事区(2.5km)			
学区名			大石学区(6.4km)				田上学区(3.3km)				上田上学区(2.5km)			
自治会名 (km)		小田原町 2.1km	龍門町 2.4km	中町 0.4km	東町 1.5km	関津 1.0km	里 0.3km	枝町 0.7km	森町 0.5km	羽栗 0.8km	新免 0.4km	中野町 0.9km	牧町 1.2km	
用地取得のための協議	設計協議	100	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
	幅杭設置	96	◆	◆	◆	◆※	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◆	
用地取得		90	100	100	100	22	100	100	92	100	100	100	75	100
埋蔵文化財調査		—	◆	◆	◆	◆	◆	◆	◇	◆	◆	◆	◇	◆
工 事 着 手	本 線	2												◇
	工事用道路	—			◇	—	◇	◇	◇	—	—	—	◇	◇

※境界未確定地を除く



工事の状況



※この図は、航空写真・図面等により作成したイメージです。完成と異なることもあります。

大津JCT(仮称)付近(航空写真)

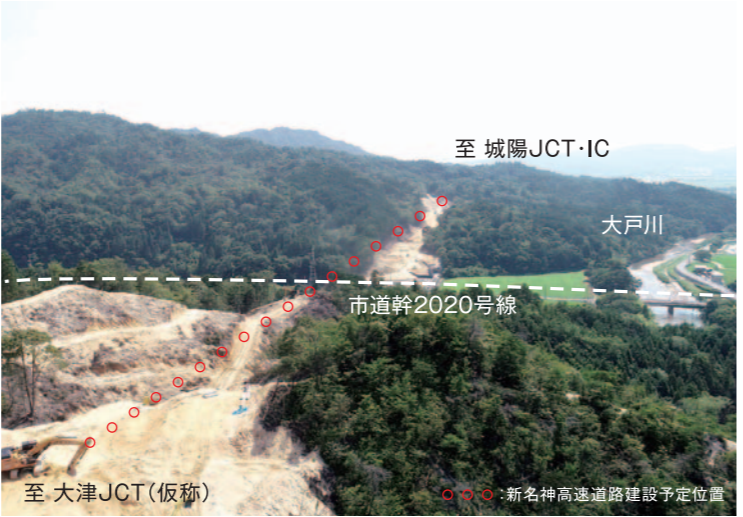


1 牧工用道路工事



補強土壁施工中

2 上田上牧工事



3 笹間ヶ岳工事



工事用道路完成(8月17日完成)

今回は「田上里工事」を担当する(株)仁木総合建設の西田裕成さんに工事概要や抱負について聞きました。

—工事の特色(概要)を教えてください。  
 —大津市の田上関津町から田上枝町までの区間の工事用道路工事を行います。具体的には、笹間ヶ岳材料運搬道路を約400mにわたって補修し、その道路を利用して本線内の工事用道路約800mを新たに施工します。また少し離れた天神川にも左岸側に、工事用道路約400mと天神川を渡る橋を同時期につくります。  
 —工事で工夫されていくことは？  
 —例えば、ガードマンの人数や位置、子どもたちの登下校時間を避ける車両運行など細やかに取り組んでまいります。また、現場は急傾斜を含む森林で、伐採から切土、盛土を行うことになるので、作業は困難が予想されます。そこで私たちは、近年、土木工事の現場で活用が進んでいるICT(アイ・コンストラクション)技術を率先して導入。

例えばドローンを使った3D測量や、ブルドーザなどの施工機械の操作をサポートするマシンガイダンス技術、機械をリアルタイムに自動制御するマシンコントロール技術等を駆使することで、安全かつ効率的に精度の高い工事を進めてまいります。  
 —工事着手にあたっての抱負をお願いします。  
 —この9月から本格的な工事がスタートしますが、円滑に作業を進めるためには、近隣住民の方々のご理解とご協力が不可欠です。天神川左岸での工事では工事用車両が住宅地を通るため、万全の注意が必要だと認識しています。私たちは事前に地元説明会を行い、住民の皆さまからのご意見をもとに、交通計画や安全対策、環境対策を実施いたします。来年6月の完成を目標に、無事故で高品質の道路をつくりあげたいと思っています。

インタビュー

INTERVIEW



新名神高速道路 田上里工事 現場代理人 西田 裕成さん



自然環境保全検討会の開催

8月1日(水)、「新名神高速道路 滋賀県域自然環境保全検討会(第5回)」を開催しました。学識経験者等から構成される委員会メンバーには、希少種を保全するための移植予定地の環境を確認していただき、保全対策について活発な意見交換を行いました。

NEXCO西日本では、こうした検討会を重ね、計画路線周辺動植物の生息・生育環境の保全対策を工事へと反映させていきます。



「河川を美しくする」会に参加

6月16日(土)、田上地区にて行われた「河川を美しくする会」へ参加し、NEXCO西日本は昨年に引き続き、お花300ポットを提供しました。

このイベントは、田上学区連合会などの団体や自治会の皆様に参加し、川沿いの景観に彩りを添えるイベントであり、毎年2回実施されています。



「外来魚駆除大会(びわこルールキッズ釣り大会)」に参加

昔から琵琶湖に生息している魚(在来魚)を守るために、ブラックバスやブルーギルの外来魚を釣り上げる外来魚駆除大会(びわこルールキッズ釣り大会)が7月21日(土)に行われ、NEXCO西日本から5名が参加しました。

NEXCO西日本では、今後も引き続き、自治体などの環境保全の取り組みに協力してまいります。

読者様からのメッセージ

- 新名神の進捗は今後も知りたい。(60代・男性)
- 初めて読みました。とても良くて乗東にドライブをしようと思いました。(50代・女性)
- ドライブ日和楽しく読みました。行ってみたいような場所や店の紹介などいいと思います。(40代・女性)

「平成30年度 新名神高速道路三重・滋賀建設促進県民協議会」大会の開催

8月5日(日)、三重県鈴鹿市内において、「新名神高速道路三重・滋賀建設促進県民協議会」大会が開催されました。会長である三重県知事からの「新名神は災害の備えや応援・受援にも大きな役割を果たす道路」である旨の紹介・挨拶を皮切りに、国会議員をはじめとする来賓の方々より祝辞等を頂きました。NEXCO中日本、NEXCO西日本からは、新名神高速道路の建設状況について報告を行った後、両県からは早期全線開通を期待する地元の声としての意見発表についても行われました。その後、鈴鹿市長による大会決議案の朗読ののち、閉会には、副会長である滋賀県知事より「現場の安全と一日も早い開通を祈念」する挨拶により締めが飾られました。

また、7月3日(火)には、大津市役所において、「滋賀新名神高速道路建設促進期成同盟会総会」も行われました。



田上里工事の安全祈願祭

7月30日(月)、大津市里 毛知比神社において、これから工事に着手していく「新名神高速道路 田上里工事」の安全祈願祭が行われました。田上学区自治連合会副会長、枝町自治会長、関津自治会長にも出席頂き、工事受注者、NEXCO西日本あわせて総勢19名が参加し、工事の安全を祈願しました。



安全衛生推進大会の実施

7月9日(月)、新名神大津事務所内において、「平成30年度 新名神大津事務所管内安全衛生推進大会」を開催しました。

大会では、関係者一同が安全に関する取組みについて確認を行うとともに、大津労働基準監督署や大津警察署からも来賓として出席頂き、建設業における労働災害の発生状況や事例、熱中症の危険性や予防対策、交通事故や交通安全等に関して、今後工事を安全に進めるために貴重な講演を頂きました。

こうした取り組みを通じて、安全意識の向上を図り、NEXCO西日本と工事受注者が一体となって、災害ゼロを目標に全力で工事に取り組んでまいります。



読者様からのメッセージ

- 子ども達が遊べる場所の紹介してほしい。(40代・男性)
- 工事のこと詳しく知れてよかったです。(30代・女性)
- 地域の特産や風景が分かり楽しかったです。(30代・男性)